

会議等議事要旨記録票

日 時	令和4年10月13日（木曜日）午前11時00分から午後0時00分まで		
場 所	30S会議室（Web会議）		
会議等名	リスクコミュニケーションチーム会議		
議 題	東京iCDCリスクチームによる緊急意識調査について 等		
参加者	チームメンバー、福祉保健局課長等		
配付資料	なし（資料投影）		
主な内容	<p>●東京iCDCリスクチームによる緊急意識調査発表資料について、意見交換</p> <p>○調査結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マスクを着用する」「こまめに手を洗う」「三密を回避する」といった項目は、実施率が高いが、3月に行った1万人アンケートと比較すると5～10%程度減少している。 ・「夜間の外出をひかえる」「県境をまたぐ移動をひかえる」の項目では、気をつけている人の割合が約55%で、3月調査から15%程度減少しており、日常生活を取り戻そうとする都民の様子が伺える。 ・「東京都の感染状況について情報をえる」については、気をつけている人の割合が3月調査から15%以上減少しており、都民の関心が薄れてきていることが表れている。 ・ワクチン接種については、「まだ接種しておらず、今後どうするかわからない」という方が依然5%程度存在する。都民の5%はそれなりの人数になるので、この層に働きかけることは大切。 ・「新型コロナに感染した場合に、そのことを学校や職場等に知られるのが不安だ」に、あてはまると回答された方は3割近く存在する。このため、罹患された方が休みやすくなるよう学校や職場に働きかけるのがよい。 ・「インフルエンザになった場合に、適切な治療を受けられるかどうか不安だ」と回答された方が45%程度いるため、新型コロナとインフルエンザの同時流行の懸念については、都民に発信した方がよい。 ・「インフルエンザワクチンも接種を促進すべきだ」とする回答は5割弱、「オミクロン株対応の新型コロナワクチンを機会があれば接種したい」と回答された方は5割を超えている。これら2項目の回答の間には、強い正の相関がみられるため、こちらの希望に応えた接種体制の整備をするとうい。 		
作成者	計画課 上條	確認者	東京感染症対策センター担当 課長 濱口